Feel the arts

伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール
Autumn 2023
VOL.44

上杉氏と国絵図の世界

特別展

【会 期】9.2㈯ ▶11.5㈰

【前期】9/2㈯～10/1㈰　【後期】10/7㈯～11/5㈰

１１月３日（金・祝）東北文化の日　どなたでも入館無料

元禄13年(1700)3月4日御国絵図控(上杉文書、当館蔵)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示

10月7日(土)～11月5日(日)

常設展示室内上杉文華館にて

特別展 上杉氏と国絵図（くにえず）の世界

前期　9月2日(土)～10月1日(日)
後期　10月7日(土)～11月5日(日)

休館日：9月27日(水)、10月25日(水)

11月3日(金祝) 東北文化の日 どなたでも入館無料！

料　金　一　般 700円(560円)　高大生 450円(360円)
小中生 300円(240円)　※( )は20名以上の団体料金

※常設展との一体型料金。この料金で全館ご覧いただけます。

助　成　独立行政法人日本芸術文化振興会

様々な絵図が作成された江戸時代において、国絵図は幕府が主導して編纂した絵図として注目されます。幕府は、四度にわたって諸藩に国絵図と土地台帳（郷帳）の作成・提出を命じました。これは、幕府が国土の掌握を目指したものと評価され、その威信をかけた政策でした。国絵図の作成には、当時の政治社会情勢が大きく関わっており、国絵図の持つ政治史的意義も見逃せません。また、幕府は、諸大名の領知支配を認める領知宛行状を度々発給し、将軍を頂点とする全国支配を明示し続けてきたことも注目されます。

本展覧会では、米沢藩が作成した国絵図及びその関連資料に注目し、江戸幕府の国絵図編纂について紹介します。上杉氏の領知・米沢を描いた国絵図を通して、地名の表記や色使いなど、現在の私たちが目にする地図とは異なる、この時代ならではの表現や世界観をお楽しみください。

◆主な出品資料

【前期】「削封日記」(上杉文書、当館)
【前期】仙台領米沢境際絵図(上杉文書、当館)
【後期】「規矩元法町見」(市立米沢図書館)
【後期】御国絵図控(上杉文書、当館)

このほか、米沢藩の絵図方として活躍した岩瀬家の資料(岩瀬家文書、市立米沢図書館蔵)も多数展示し、国絵図作成の背景に迫ります。

◆講演会「国絵図からみた江戸時代」

聴講無料

日時：10月14日(土) 14：00～16：00
会場：伝国の杜２階大会議室　定員先着120名
講師：杉本 史子 氏 (東京大学史料編纂所教授)

◆募集制ワークショップについては、4ページをご覧ください。

◆ギャラリートーク(担当学芸員の展示解説)

〔前期〕9月2日(土)、9月16日(土)
〔後期〕10月7日(土)、10月21日(土)
いずれも14：00～、企画展示室にて、要入館料

【前期】御国絵図下図（上杉文書、当館）
元禄 12 年 (1699)6 月 9 日 295.2×268.6(cm)

【通期】「出羽一国御絵図」(上杉文書、当館)
元禄 14 年 (1701)2 月　543.5×537.0(cm)

企画展 学んで、旅して、たのしむ浮世絵

広重美術館コレクション

前期 11月11日(土)～12月10日(日)
後期 12月13日(水)～2024年1月14日(日)

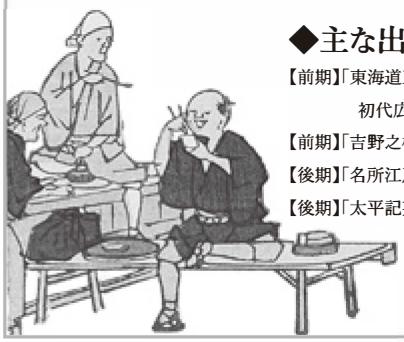
休館日：11/22(水)、12/18(月)、12/25(月)
年末年始(12/27～1/1)、1/9(火)

料　金　一　般 490円(390円)　高大生 340円(270円)
小中生 240円(190円)　※( )は20名以上の団体料金
※企画展のみ。常設展は別途料金となります。

企画・監修　広重美術館　共催 石巻市博物館

初代歌川広重（1797 ～ 1858）は、四季折々の日本の風景、草花や愛らしい小動物、その土地に生きる人々の暮らしなどを抒情豊かに描いた浮世絵師です。代表作である「東海道五十三次之内」、「名所江戸百景」をはじめ、数多く描いた江戸や諸国の名所風景画は、当時から人気を得たのはもちろんのこと、今なおその魅力を失うことなく多くの人々の心を捉えています。

本展覧会では、広重美術館（山形県天童市）が収蔵する初代から五代までの歌川広重の作品を通して、浮世絵の見方や見どころを学び、広重が描く東海道や諸国を旅しながら、江戸っ子に愛された浮世絵の魅力に迫ります。また、当館収蔵の武者絵コレクションから歌川国芳や月岡芳年の迫力ある錦絵を初公開します。



◆主な出品資料

【前期】「東海道五十三次之内三島　朝霧」(保永堂版)
初代広重(広重美術館)
【前期】「吉野之桜・龍田川之紅葉」(肉筆)　初代広重(広重美術館)
【後期】「名所江戸百景　大はしあたけの夕立」　初代広重(広重美術館)
【後期】「太平記英雄傳　上杉不識院謙信」　落合芳幾(当館)

◆募集制ワークショップについては、4ページをご覧ください。

【前期】「東海道五十三次 十四　原」

【後期】「名所江戸百景
大はしあたけの夕立」

◆オープニングゲストトーク

11月11日（土）14:00～　※企画展示室にて、要入館料
広重美術館副館長　梅沢美穂氏

◆ギャラリートーク(担当学芸員の展示解説)

12月16日（土）14:00～　※企画展示室にて、要入館料

コレクション展

国宝「上杉家文書」の世界Ⅶ
～形に見る戦国時代の特徴～

2024年2月10日（土）～3月10日（日）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

料　金　一　般420円（330円）　高大生220円（170円）
小中生110円（80円）※（ ）は20名以上の団体料金
※常設展との一体型料金。この料金で全館ご覧いただけます。

米沢藩上杉家に伝来した「上杉家文書」は、上杉家の由緒を証するものとして、何よりも大事に伝えられてきました。平成元年（1989）、米沢市に寄贈後、同13年に国宝に指定されました。鎌倉時代から明治・大正に至る2000点余に及ぶ古文書は、その充実した内容はもとより、やり取りされた当時のままの姿で伝えられているものが非常に多く含まれていることが高く評価された結果でした。それは、文書がどのように扱われたのかという事実を理解するとともに、形の持つ意味を考える素材としての評価でした。

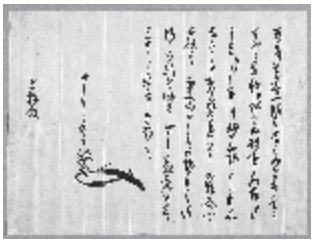
本展覧会では、40点程度の戦国時代の文書を中心に、やり取りをする人の関係や、送られる行程などの視点から、文書の形について考えていきます。開いた形や折りたたんだ形、折りたたみ方、封のされ方などを、手紙の書き方（書札礼）などもふまえてみていきます。果たして、どのような特徴が出てくるのでしょうか？

上杉謙信書状

◆ギャラリートーク（担当学芸員の展示解説）
日時：①2月10日（土）　②3月9日（土）
いずれも14：00～、企画展示室にて、要入館料

◆主な出品資料（すべて当館蔵）　※変更の可能性があります。

（永正10年）10月23日長尾為景書状
（元亀 3 年）9月18日上杉謙信書状
（天正 6 年）4月 3日上杉景勝書状
（大永 4 年）11月23日北条氏綱書状
（永禄12年）2月 6日北条氏康書状
（天正17年）10月 8日伊達政宗書状　　ほか


伊達政宗書状

長尾為景書状

常設展示室 上杉文華館

年間テーマ：上杉家歴代の文書管理と歴史編纂 ～国宝「上杉家文書」と上杉文書～

上杉文華館では、国宝「上杉家文書」を毎月入れ替えながら展示しています。上杉家文書は、江戸時代以降に行われた文書の管理や歴史編纂を通じて上杉家の由緒や権威、特定の当主の事績を示す文書が選別され、現在の2000点余の構成になったと考えられます。また、これとは別に「上杉文書」と呼ばれる藩政文書を中心とした史料群があり、米沢市では文化庁の補助を受け調査に取り組んでいます。その中核は文書管理や歴史編纂を担った、江戸時代の御記録方や、近代の上杉家記録編纂所総裁・伊佐早謙の関連文書です。

今年度、下半期は、本調査事業の成果を活用して２つの史料群を紐解きながら、江戸時代中期から近代にかけて、藩政改革の一環として行われた歴史や記録の編纂事業と、文書管理の具体的な方法、そこから分かる時代の大きな変化などを紹介します。

＜スケジュール＞　※内容は変更になる場合があります。

⑦ 9月28日（木）～10月24日（火）「鷹山の改革と記録の活用」　CT：10/1（日）
⑧10月26日（木）～11月21日（火）「治広と寛政の改革」　CT：10/29（日）
⑨11月23日（木）～12月24日（日）「斉定による改革の継承」　CT：11/26（日）
⑩12月26日（火）～ 1月28日（日）「斉憲と幕末の動乱」　CT：1/7（日）
⑪ 1月30日（火）～ 2月25日（日）「茂憲と戊辰戦争」　CT：2/4（日）
⑫ 2月27日（火）～ 3月24日（日）「近代の文書管理と歴史編纂」　CT：3/3（日）

コレクショントーク（CT）は各回14時～、要入館料

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示
10月7日（土）～11月5日（日）

モールの展示作品

Uesugi Museum Art Collection

＊展示作品は都合により変更になる場合があります。

総合案内前では、当館コレクションから郷土作家を中心に作品を入れ替えて展示しています。
ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

■9月28日（木）～11月21日（火）
土田次枝　「高原」
キャンバス・油彩　1967年

■11月23日（木・祝）～1月21日（日）
尾越勝之助　「森」
制作年未詳（昭和）　紙本着色

■1月23日（火）～3月24日（日）
本間国生「雨後の山」
制作年未詳（昭和）　紙本墨画

教育普及事業

Hands & Heart ～手とこころでかんじよう～

PS プレイショップ × 造形

毎月多彩なものづくりが体験できます。

●申し込み不要（入室定員15名）
※団体利用は要事前予約。
休館日は年間カレンダー、HPでご確認下さい。

9/29(金)―10/24(火)
日本画に挑戦！
洛中洛外図屏風の一場面を楽しく描こう。

10/27(金)―11/23(木・祝)
すてきな型絵染
いろいろな型を準備してお待ちしています。

11/25(土)―12/21(木)
紙の獅子舞づくり
お正月飾りにもできるかわいい獅子舞です。

2024.1/2(火)―1/24(水)
ハニカムペーパーでつくろう！
広げてびっくり！何ができるかな？

1/26(金)―2/21(水)
紙でつくるおひなさま
いろいろな種類の紙を使ってつくります。

2/23(金・祝)―3/27(水)
スパッタリング
絵具のしぶきで不思議な作品を作ろう。

WS 募集制 ワークショップ

●要事前申し込み
※参加費：各500円

鑑賞 ナイトツアー

上杉本洛中洛外図屏風をたのしむ

夜の博物館で国宝の魅力に迫ります。

10月20日(金) 19:00～20:30
定員 どなたでも20名
（中学生以下は保護者同伴）
9/20(水)～受付

発見

誰もしらない博物館
～博物館バックヤードツアー～

博物館の裏側と意外と知られていない仕事と役割を紹介します。

11月3日(金・祝) 13:30～15:30
対象・定員 どなたでも15名
10/4(水)～受付

制作

浮世絵摺師に挑戦！（うきよえすりし）

11月19日(日)
①10:00～12:00
②13:30～15:30

浮世絵はどうやって作られる？
何枚もの版木を使った
高度な技術を体験します。

協力：公益財団法人
アダチ伝統版画保存財団
対象・定員 小学生以上各回10名
10/18(水)～受付

企画展 学んで、旅して、たのしむ浮世絵
関連事業

鑑賞 ナイトツアー

広重と歩く東海道五十三次

11月24日(金)
19:00～20:30
ミラバースミュージアムがやってきます！

浮世絵の世界を旅し、
その魅力を発見しよう！

講師：広重美術館
副館長 梅沢美穂氏
学芸員 土屋明香氏
対象・定員 どなたでも20名
（中学生以下は保護者同伴）
10/18(水)～受付

制作

レジンの銀河と惑星 2024年2月17日(土) 13:30～16:00

手のひらに乗る小さな宇宙を作ります。
対象・定員：高校生以上15名
1/17（水）～受付

出前授業、学校連携の事例などはホームページに掲載しています。 詳細は下記にお気軽にご相談ください。
お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)
[E-mail] welcome@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

収蔵品 学芸ノートから

「武田上杉川中嶋大合戦圖」（たけだうえすぎかわなかじまだいがっせんず）

一勇斎(歌川國芳)（いちゆうさい うたがわくによし） 江戸時代 大判三枚組

歌川國芳(寛政9年―文久元年/1797―1861)は、江戸の京紺屋(染物屋)に生まれ、初代歌川豊國（うたがわとよくに）の門人として活躍し、一勇斎・朝桜楼（ちょうおうろう）と号しました。幕末期に新奇の画風や画題を好んだ浮世絵師であり、他にはない珍しい画風から江戸の庶民の間で人気となりました。

國芳が活躍した当時は、人気画題であった美人画・役者絵が江戸幕府によって禁止された時代でもあります。そのため、浮世絵師は様々な制限を課せられる中、風景画や武者絵といった画題を工夫して描いていました。

川中嶋大合戦は、上杉謙信と武田信玄の一騎打ちが有名な武者絵の画題です。國芳の武者絵は、極端な誇張によるダイナミックな構図が特徴的ですが、本作品にもそれを見ることができます。 睨みながら太刀を振り下ろす謙信と、その太刀を軍配で防ぐ信玄、 両者がいる激しい川の流れなどから画面の 緊張感や迫力が伝わります。 川中島合戦は、 國芳の他に師である歌川豊國や門人の月岡芳年（つきおかよしとし）といった著名な浮世絵師も描いており、 当時から人気 のある画題の1つだったことが窺えます。

國芳の武者絵は、企画展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵～広重美術館コレクション～」(2ページ参照)に出品予定です。本企画展から國芳の武者絵の魅力を知る機会となれば幸いです。

ミュージアムショップから

NewLineup!特別展「上杉氏と国絵図の世界」公式図録

展覧会の公式図録を販売中です！
地名の表記や色使いなど、現代とは異なる江戸時代ならではの表現や世界観をお楽しみください。また、巻末には当館所蔵の重要文化財「越後国頚城郡絵図」をはじめとする6点の折り込み大判絵図を収録。ご自宅で広げてじっくり鑑賞いただけます。

HPには、ショップの最新情報や通信販売のご案内を掲載しています。こちらもあわせてチェックしてみてください。

公式図録
「上杉氏と国絵図の世界」
2,200円（税込）
※画像は開発中のものです。

ネットショップがより便利になりました！

ネットショップでは、クレジットカード決済を導入しました。今までの現金引換に加え、主要カード会社のカードをお使い頂けます。また、クレジットカード決済では代金引換と違い手数料がかかりませんので、気軽にお買い物をお楽しみ頂けます！この機会に是非ご利用ください。

◆ご利用頂けるカード
VISA、JCB、AMEX、Mastercard、DINERS,DC,UC 他
◆ネットショップHP
https://www.uesugi-museum.shop/

↓ネットショップはこちらから

伝国の杜ファンクラブ

10月以降入会は会費半額!

下半期会費 一般1,250円　学生500円　ジュニア250円

会員期間 入会日～2024年3月31日まで

会員特典 会員証をご提示いただくと様々な特典があります。

・常設展・企画展が会員期間中何度でも無料で観覧できます。
（同伴者１名は団体割引）
・ホール自主事業の先行予約・料金割引
（１事業４枚まで）

ほかにも特典いろいろ!

ファンクラブ担当問合せ：0238-26-8000

伝国の杜FC会員は現在305人（9月1日現在）。展覧会やコンサートなどに毎回足を運んでくださる方も多く、伝国の杜を身近にご利用いただいています。10月1日からは会費半額。おためし入会もオススメです。なお、FC会員向け事業「国絵図を楽しもう」を10月27日（金）に開催予定です。この機会にぜひご参加下さい。

令和4年度FC会員事業
「伝国の杜芸術サロンII」

令和4年度FC会員事業
「特別展『上杉家伝来写真』をもっと深める特別講座」

伝国の杜サポーター

活動報告

6月より洛洛案内人の活動を再開しました。昨年度行った勉強会の成果を踏まえ、多くのお客様に上杉本洛中洛外図屏風の魅力を発信し続けています。

伝国の杜では、伝国の杜サポーターを募集中です。広報物の発送やホールのレセプショニストなど、6つの分野で活動しています。

座の文化伝承館をぜひご利用ください！

米沢市丸の内1－3－48
TEL 0238-23-8009
休館日：毎週火曜、年末年始

庭園と茶室「静山庵」

「炉」が切られた数寄屋造りの茶室を持つ座の文化伝承館では、茶道を始め、和楽器演奏や謡、囲碁・将棋など、「座って行う日本文化」にお気軽にご利用いただけます。見学も大歓迎です。↓最新情報はこちら

◆座の文化伝承館HP
https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/ zabun.html

ナセBA

市立米沢図書館 Book &Art よねざわ市民ギャラリー

市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーからのおしらせ

米沢市中央1丁目10-6　TEL　図書館：0238-26-3010/ギャラリー：0238-22-6400

市立米沢図書館自主事業

◆10/27（金）～11/5（日）
2023読書週間図書館フェア
ナイトバックヤード（書庫）ツアー、読書会、などの各種イベントを行います。

◆12/6（水）～12/10（日）※よねざわ市民ギャラリーにて開催
「米沢市小中学校読書感想画展」

◆先人顕彰コーナー（多目的展示室）
○11/25（土）～12/27（水）
「新聞記事にみる米坂線の97年」
開業以来、「地域の足」として利用されてきた米坂線。復旧を祈念して、その歩みを振り返ります。

○1/4（木）～1/24（水）
「図書館の絵図展8　各地の城絵図」
高畠城、鶴岡城、仙台城など、図書館で所蔵する各地の城絵図を紹介します。

ナイトバックヤードツアー

よねざわ市民ギャラリー自主事業

いずれも入場無料です。

◆2024年3月8日（金）～18日（月）授賞式：2024年3月20日(水・祝)
「ARTS MEET OKITAMA2024／AMO2023大賞展 井上富士子展」
米沢・置賜ゆかりの作家や作家志望の方々からフリーテーマ部門や企画テーマ「光」など多彩なジャンルの作品を募る公募展です。
「つくる人」と「みる人」を繋げる非常にユニークな展覧会です。

◆オープンギャラリー
10月27日（金）～2024年1月24日（水）
上杉博物館アートコレクション
「彫刻の魅力　木彫と塑像」

1月26日（金）～4月24日（水）
上杉博物館アートコレクション
「椿貞雄と米沢の画家たち①
没後50年 土田文雄」

桜井祐一「寒山拾得」
木彫・着色　制作年未詳

▼　置賜文化ホール

10/8（日）9：30開演　おきたまの秋空に響かせたい！ 第18回 吹奏楽の日コンサート 2023

ホールの響きに包まれる「内奏（うちそう）」

ゲストによる特別演奏

♪カルメンファンタジー / ビゼー他

フルート 鈴木芽玖

ピアノ 皆川あゆみ

吹奏楽に浸る一日を伝国の杜で過ごしませんか（入場無料・途中の入退場もOK！）

山形県置賜地域では、学生から社会人までの多くの吹奏楽グループがコンクール出場、自主公演、訪問コンサートやイベント出演など、活発に活動しています。このコンサートは、これらの団体が互いの演奏に触れ合うことを目的に毎年秋に開催しています。台風による中止や新型コロナの影響による自粛を経て４年ぶりとなる「庭奏」は、目の前のお客様から手拍子をあわせていただくなど客席参加も楽しみのひとつ。秋空にむかって響かせる爽快なサウンドをぜひお楽しみください。

当日のプログラムや進行タイムテーブルは、ホール公式 HP または SNS でお知らせしています。（9月下旬掲載予定）

参加団体　米沢ジュニア吹奏楽クラブ／米一中／米二中／米三中／米四中／米五中／米六中／米七中／長井南中／興譲館高／置賜農業高／米沢中央高／米沢工業高／米沢商業高／九里学園高／米沢東高／南陽高／高畠高／長井高／山大工学部米沢女子短期大学米沢栄養大学吹奏楽団／リブレ―ヴサクソフォンクゥルテット／アンサンブルプルプル／色褪せたオレンジジャージ／ Big Band Jam ／合奏集団極楽浄土／おきたまシンフォニックサウンド倶楽部／ KTY ウインドアンサンブル／米沢吹奏楽愛好会

※以上の団体の単独または合同演奏

ピロティの特設ステージでの「庭奏（にわそう）」

屋内外で２ステージ同時進行のコンサートが４年ぶりに復活！

10/28（土）14:00開演　古楽器アンサンブル「シェイクスピアの春夏秋冬」

シェイクスピアの生きた時代の音楽やシェイクスピア作品の劇中音楽を、当時の楽器で演奏するコンサート。

四季折々に重ね合わせたプログラムと、衣装や照明を駆使した楽しい舞台演出で、目と耳でシェイクスピア音楽を楽しめます。

開場前の 13:15 からは能舞台上にてミニコンサートを開催します。伝国の杜の特徴である能舞台での西洋の古楽の演奏という和洋の伝統の融合をお楽しみください。

出演：レ・タンブル＆ハルモニア・レニス

◀どんな音楽？
演奏の様子を少しだけご紹介します。
（左の QR コードから YouTube の動画がご覧いただけます。）

ticket　【全席指定】一般 ¥2,000　学生 ¥1,000
（当日各 500 円増）　※小学生から入場できます。

こども狂言（きょうげん）クラブ

初めての狂言教室「小さなきのこ」クラス

立ち方・歩き方・きのこ歩き
謡（うたい）の稽古をします

和泉流狂言師
（野村万蔵家）
野村拳之介（のむらけんのすけ）ほか

募集

活動内容	３月の発表会で狂言「くさびら」に登場する「きのこ」役の稽古
対象年齢	５歳～小学２年まで
活動日	主に土・日・祝日（月１回程度）
活動場所	伝国の杜「能舞台」他
指導講師	和泉流 狂言師、こども狂言クラブメンバー、置賜文化ホール職員
経費負担	参加無料ですが白足袋の用意が必要です（白足袋の代金は有料）
その他	４月からこども狂言クラブのメンバーになることができます。※右頁参照

置賜文化ホール自主事業の企画内容は、チラシをご覧ください。
ホール公式 X(旧 Twitter)、伝国の杜こども狂言クラブ Instagram でも最新情報を発信中！

X　Instagram

2024 1/8（月・祝）15：00開演　山形交響楽団 ユアタウンコンサート米沢公演

阪（ばん）　哲朗（てつろう）

外村（ほかむら）　理紗（りさ）

名器ストラディヴァリウスの響き　外村理紗と山響のチャイコフスキー
絶賛を博す阪哲朗のウィンナワルツで山形交響楽団と寿ぐ新年を。
さらに、チャイコフスキーを代表する名曲「ヴァイオリン協奏曲」には、いま注目が集まるヴァイオリニスト外村理紗を迎えます。ヴァイオリニストの母親の手ほどきで幼少期からヴァイオリンを始め、17 歳でインディアナポリス国際ヴァイオリンコンクール第 2 位受賞。アメリカでも研鑽を積み、若手演奏家の登竜門「ヤング・コンサート・アーティスツ」で優勝。日本音楽財団よりストラディヴァリウスを貸与されています。阪哲朗指揮、山響との演奏にご期待ください。

50 年以上にわたり音楽文化をけん引し続ける山形交響楽団

主なプログラム　※都合により変更となる場合があります。

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K. 492 序曲
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35
J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇「ジプシー男爵」序曲
J. シュトラウスⅡ世：アンネン・ポルカ 作品 117
J. シュトラウスⅡ世：ワルツ「皇帝円舞曲」作品 437

ticket　【全席指定】
一般 ¥4,000　学生（U-24）¥1,500
（当日各 500 円増）　※小学生から入場できます。

2024 3/3（日）14：00開演　東儀秀樹コンサート

東儀秀樹（とうぎ　ひでき）
©Ayako Yamamoto

奈良時代から受け継がれてきた日本の古典音楽、雅楽の素晴らしさを世界中に届けるアーティスト、東儀秀樹を招きコンサートを開催します。
前半は、東儀秀樹が雅楽器の魅力をたっぷりとお届けします。後半は、大河ドラマ『青天を衝け』の大河紀行音楽を演奏したバンドネオン奏者、三浦一馬をゲストに迎え、雅楽器とバンドネオンという異色のコラボレーションをお楽しみください。

ticket　【全席指定】一般 ¥4,000　学生 ¥2,000
（当日各 500 円増）　※小学生から入場できます。

発売日　一般発売 12/7(木)9:00
伝国の杜 FC 会員先行予約 11/29（水）～ 12/3（日）

三浦一馬（みうら　かずま）
© 日本コロムビア

庭にきのこがたくさん生えて家の人を困らせる狂言「くさびら」の一場面

先生と 1 対 1 の稽古に取り組むこどもたち

こども狂言（きょうげん）クラブ

5 歳から中学生まで入会可

プロの狂言師を講師として招くなど月に 1 度ほど能舞台で稽古しています。歩き方、所作（立ち居振る舞い）、発声の基本、扇の使い方、着物の着方など、日本の伝統文化を遊びながら学び、発表会や行事などで地域の方に披露しています。

祝賀行事での発表の様子

伝国の杜 CALENDAR 2023.9月ー2024.3月

＊9月現在の予定ですので、変更になることがあります。

展覧会

G：ギャラリートーク（企画展示室展示解説）　講：講演会

C：コレクショントーク（上杉文華館展示解説）各回14:00～

企画展示室

特別展 上杉氏と国絵図の世界

9

前期
9/2（土）▼10/1（日）
休館日 9/27

G 9月2日（土）、9月16日（土）各回14：00～、要入館料

講 10月14日（土）14：00~16：00
「国絵図からみた江戸時代」
杉本 史子 氏（東京大学史料編纂所教授）
伝国の杜 2階大会議室
定員：先着120名　聴講無料

10

後期
10/7（土）▼11/5（日）
休館日 10/25

G 10月7日（土）、10月21日（土）各回14：00～、要入館料

11/3 東北文化の日 博物館無料入館日 どなたでも無料

11

企画展 学んで、旅して、たのしむ浮世絵 ～広重美術館コレクション～

前期
11/11（土）▼12/10（日）
休館日 11/22

G オープニングゲストトーク
梅沢美穂氏（広重美術館副館長）
11月11日（土）14：00～
要入館料

12

後期
12/13（水）▼1/14（日）
休館日 12/18,25, 27-1/1 1/9

G 12月16日（土）14：00～
要入館料

2024
1

コレクション展 国宝「上杉文書」の世界Ⅶ ～形に見る戦国時代の特徴～

2

2/10（土）▼3/10（日）
休館日 毎週月曜日

G 2月10日（土）、3月9日（土）各回14：00～、要入館料

3

常設展示室 上杉文華館

年間テーマ 上杉家歴代の文書管理と歴史編纂

鷹山の改革と記録の活用
9月28日（木）～10月24日（火）
C 10月1日（日）

10/7（土）～11/5（日）国宝上杉本洛中洛外図屏風 原本展示

治広と寛政の改革
10月26日（木）～11月21日（火）
C 10月29日（日）

斉定による改革の継承
11月23日（木）～12月24日（日）
C 11月26日（日）

斉憲と幕末の動乱
12月26日（火）～1月28日（日）
C 1月7日（日）

茂憲と戊辰戦争
1月30日（火）～2月25日（日）
C 2月4日（日）

近代の文書管理と歴史編纂
2月27日（火）～3月24日（日）
C 3月3日（日）

教育普及事業

募集制ワークショップ（要事前申込・有料）

10月20日(金)19:00～20:30
ナイトツアーようこそ夜の博物館へ
「上杉本洛中洛外図屏風の世界を楽しむ」

11月3日(金祝)13:30～15:30
だれもしらない博物館
～博物館バックヤードツアー～

11月19日(日)
①10:00～、②13:30～
浮世絵摺師に挑戦

11月24日(金)19:00～20:30
ナイトツアーようこそ夜の博物館へ
「広重と歩く東海道五十三次」

2月17日（土）13:30～16:00
レジンの銀河と惑星

ホール

9月30日（土）
宝くじ文化公演
「元気が出る！オーケストラコンサート」

10月8日（日）
吹奏楽の日コンサート2023

10月28日（土）
古楽器アンサンブル
「シェイクスピアの春夏秋冬」

1月8日（月祝）
山形交響楽団 ユアタウンコンサート 米沢公演

3月3日（日）
東儀秀樹コンサート

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」

室町時代　狩野永徳筆

虫取り（むしと）（左隻6扇）

緑色の箱のようなものが付いた棒を担ぐ男たち。その箱は独特の形をしています。これは虫かごです。この男たちは、洛外で虫を捕まえて洛中に向かっている途中とみられます。

平安時代以来、虫の鳴き声や形の優劣を競う虫合（むしあわせ）という遊びがあり、そのための虫は郊外で捕まえました。その一端をこの描写は示していると考えられます。かごに括り付けられた木の枝のようなものは、虫合の演出に使うために一緒に取ってきたものでしょうか。

◆利用案内◆

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052　山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000（代（公財）米沢上杉文化振興財団）
0238-26-2660（FAX）
0238-26-8001（米沢市上杉博物館）
0238-26-2666（置賜文化ホール/チケット・施設利用）
ホームページ　https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp
ブログ　http://samidare.jp/denkoku
（公財）米沢上杉文化振興財団ホームページ
http://www.uesugizaidan.or.jp/

伝国の杜 検索

博物館開館時間：9:00-17:00（入館は16:30まで）
博物館休館日：5月-11月 第4水曜日（休日の場合はその直後の平日）
12月- 3月 毎週月曜日（休日の場合はその直後の平日）
年末年始（今年度は12/27～1/1）
※年始 1/2～1/3は休まず開館予定。
ホール休館日：毎週月曜日（休日の場合はその直後の平日）／年末年始
博物館入館料：常設展 一般410（330）高大生210（150）
小中生110（60）　（ ）は20名以上の団体料金
※特別展・企画展は別途
※特別展開催期間は常設・企画一体型料金のため異なります。

Feel the arts 伝国の杜 DENKOKU NO MORI

「伝国」という言葉は、米沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年（1785）上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

■発行/米沢市上杉博物館　置賜文化ホール　■編集/公益財団法人　米沢上杉文化振興財団　■発行日/令和5年9月　■印刷/株式会社羽陽印刷